

現社長の職務権限の移譲項目の整理票

※	①現社長が今、どういう業務を直接行っているか、直接の権限として決裁・決定しているかを整理する。
※	②各業務の大まかな内容を表現する(後継者に理解をさせる為)
※	③各職務権限から、「この1年間で業務移管、責任移管」したい項目を、C、B、Aの3段階で決める。
※	④" 「今後3年以内で業務移管、責任移管」したい項目を、C、B、Aの3段階で決める。
※	③④の検討段階では、現社長と後継者又は第三者コンサルタントや会計事務所を交えて行うとスムーズにい

当面自分がやらねば問題になる(ややこしくなる)	C
少しは、後継者に経験を積ませても構わない(一緒にやる方が良い)	B
後継者に任せた方が良い	A

①現社長が現在 直接の権限で実施している事	②大まかな内容	③この1年間で移譲	④3年以内に移譲
1 商工会議所や業界関係の付き合い	商工会理事や組合役員	C	B
2 社外関係の行事やイベントへの出席	取引先の慶弔やイベント出席	B	A
3 株主総会の議事	株主総会関連	C	B
4 実印の管理		C	B
5 銀行印の管理		B	A
6 支払等資金関係の決済	稟議の決裁・支払決裁	B	A
7 就業規則や諸規則の改正の決裁	規則変更や諸規則追加の決裁	B	
8 社員の給与賞与決定	昇給・賞与の決定	A	A
9 幹部の給与賞与決定	昇給・賞与の決定	B	A
10 役員の給与賞与決定	昇給・賞与の決定	C	B
11 社員の人事異動の最終承認	昇格、昇進、異動の決定	A	A
12 幹部の人事異動の最終承認	昇格、昇進、異動の決定	C	A
13 社員採用の最終承認	採用の最終決定や面接	A	A
14 商品開発・改良の責任	新商品戦略の決定	A	A
15 新企画や顧客サービスの決定	新企画や顧客サービスの決定	A	A
16 仕様変更、デザイン変更	商品の最終決定	B	A
17 顧客政策の最終判断	顧客別の取引方針の判断	B	A
18 価格政策の最終判断	価格の決定、損切りの決定	B	A
19 金融機関との付き合い	決算書の報告や交際	B	A
20 金融機関からの融資と資金移動	自己資金と融資の判断や担保の判断	B	A
21 決算の決定	税理士と打ち合わせして決算を決める	C	B
22 外注管理、仕入管理と判断	外注先毎の方針決定	A	A
23 経営計画・年度方針の方針策定	数値計画と行動計画の決定	B	A
24 営業全般の責任者	取引先への対応	A	A
25 旅費交通、出張の稟議決裁	出張の判断	A	A
26 接待交際費の稟議決算	交際の判断	A	A
27 売掛回収の責任	売掛金のチェックや不良債権対策	A	A
28 新規顧客開拓の率先垂範	新規開拓の実践	A	A
29 営業部門の人事労務政策の立案	営業の担当替えや配置の決定	A	A
30 生産管理全般の責任者	設備投資の決定	A	A
31 工場全体のリスクマネジメント	労災、リスマネの対応	B	A
32 参加会議	経営会議 幹部会議	C	B
33 参加会議	営業会議、製販会議	A	A